

# スクールインターンシップで学んだこと

文学部文化史学科 3 回生

研修校：京都府立鴨沂高等学校

## ◇参加した理由

私がスクールインターンシップに参加した理由は3つありました。まず、私の志望自治体は教育実習が教員採用試験の後に行われるので、教員採用試験までにこれまで生徒の立場でしか見たことのなかった教育現場を教員の立場から捉え、現場の先生方のお話や生の体験を通じて教職に対する知識と経験を深めたかったからです。次に、大学の授業で学んだ社会科教育についての知識をもって様々な先生の社会科授業を見学し、お話を伺うことで、より良い社会科授業について考えを深め、先生方から吸収することで自身の授業改善を図りたいと考えたからです。最後に、私は生徒との関わりに少し苦手意識があったので、インターンシップを通じて生徒と積極的に交流することで、苦手意識を払拭したいという狙いがありました。

## ◇研修内容

- ・社会科授業の見学、アクティブラーニングへの参加、机間指導、講話など
- ・京都文化コースのフィールドワーク授業の引率補助
- ・学校説明会の運営補助
- ・体育祭の運営補助

## ◇インターンシップで得た学び

私はインターンシップを通じて主に2つのことを学びました。1つ目は、生徒の「主体的・対話的で深い学び」を実現させる実践的な授業方法です。授業見学では様々な先生による様々な社会科授業を長期に亘って見せて頂きました。そこで大学の講義で学んだ社会科授業についての知識を活かして見学することで、非常に多くの勉強になる教授法と工夫に出会うことができました。大学では「生徒の社会認識を深めることが社会科授業の教育的役割」であり、一問一答的な知識ではなく事項ごとの因果関係を構造的に捉えさせることが重要だと教わりましたが、現場の先生方は実際にそれを実現できる「主体的・対話的で深い学び」を促進する問いの立て方や授業形態を沢山取り入れておられ、生徒も積極的に授業に参加していたことが印象的でした。2つ目は、生徒の立場からでは見えなかった授業以外の学校や教員に関わることです。私は体育祭や学校説明会、フィールドワーク授業の補助、授業後の先生方への質問を通じて、学校行事が教職員と生徒が一丸となって運営されていることや、校務分掌や部活動、担任制、勤務時間、異動についてなど、授業以外の多くのことを学べました。さらに、高校による雰囲気の違いや、高校の特色に合わせた授業方法の調整・工夫についても深い内情まで教えて頂けたので、将来への自信をつけることができました。

## ◇参加を考えている方へ

私は高校3年生の受験期にコロナが流行し始めた世代で、コロナ禍の学校現場は未経験でした。しかし、スクールインターンシップで現場の高校に伺うと、先生のおほとんどが電子黒板で授業を行い、生徒はGIGAスクール構想で生徒全員に支給されたタブレット端末を用いて探究活動を行うなど、自分の現役時代とは大きく様変わりしていました。ICT化された授業は非常に効率的で、学びの多いものばかりです。私は大学の授業で学んだ理論に高い実現性を兼ね備えた理想の社会科授業に出会うことができました。現在の教育現場を教員視点から見る貴重なチャンスです。ぜひスクールインターンシップに参加して、生徒の視点からは見えなかった生きた現場を目撃して下さい。